

# 持続可能な豊かな森を築く

— 資源を提供してくれる森を築くために今必要な事 —

「持続可能な豊かな森を築く」

資源を提供してくれる森、それは私たちの先輩諸氏が「人工林」として造り、育んできた森です。

近年は環境問題の解決場所として注目されてきた森林ですが、私たちが生活するうえで利用する資源を提供してくれる「森」として改めて見直す必要があります。こうした背景には、人工林を伐採した後に改めて植栽する「再造林」が行われず、造林未済地として残される山が急速に増えていることがあります。

この原因としては造林保育の経費、素材生産・流通の経費、国際経済の中での木材の価格等、一辺倒では解決できない多数の問題を含んでいます。

今回はこの問題に対峙すべく始まった最新の研究を紹介します。

## Program

### 講演

■イントロダクションー日本の針葉樹人工林の現状を正しく理解するー  
研究ディレクター 宇都木 玄

■育林作業の省力化に向けてー最先端の技術と考え方ー  
九州支所 主任研究員 山川 博美

■素材生産技術の高度化ーここまできた林業機械の自動化ー  
林業工学研究領域 室長 中澤 昌彦

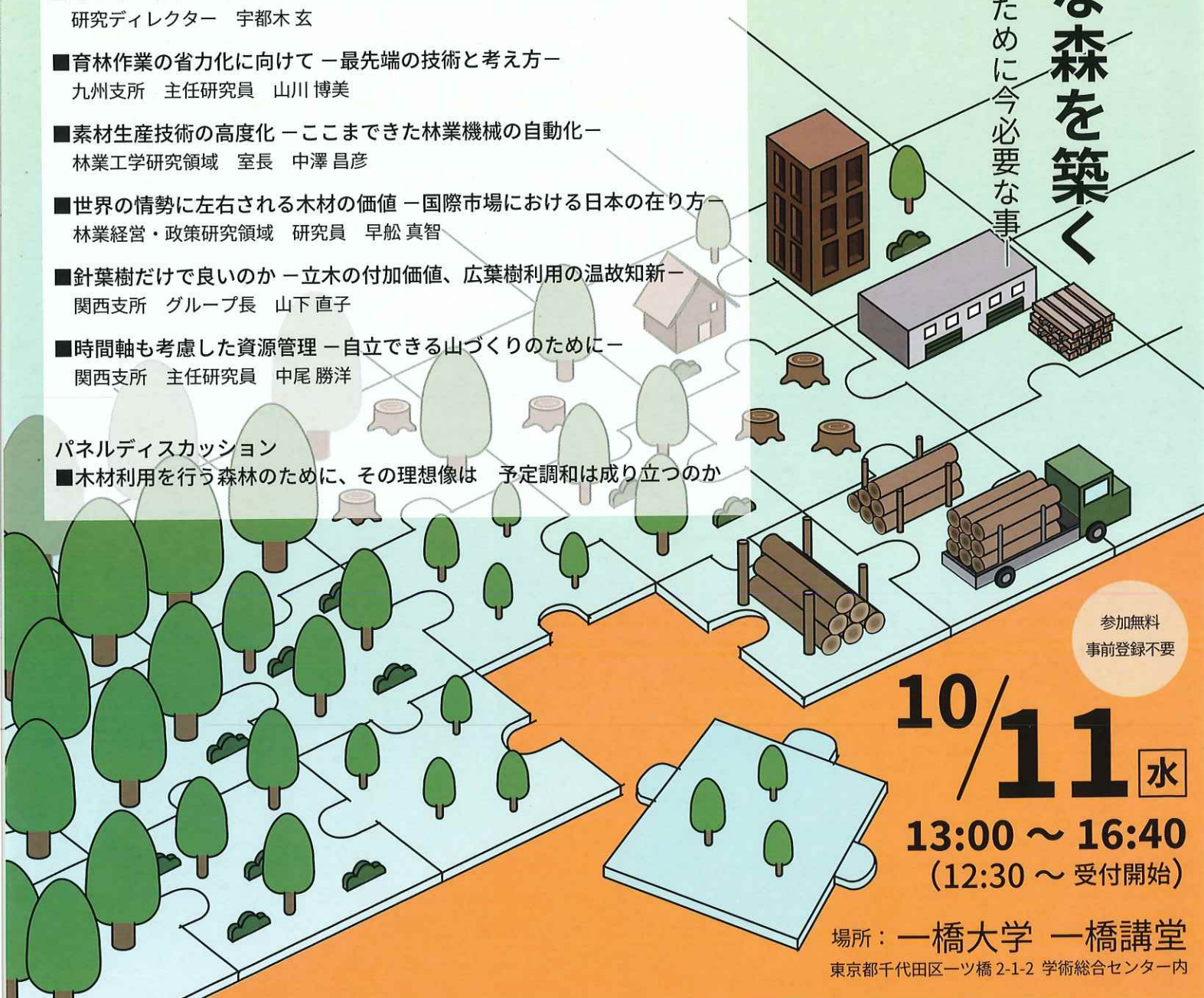
■世界の情勢に左右される木材の価値ー国際市場における日本の在り方ー  
林業経営・政策研究領域 研究員 早船 真智

■針葉樹だけで良いのかー立木の付加価値、広葉樹利用の温故知新ー  
関西支所 グループ長 山下 直子

■時間軸も考慮した資源管理ー自立できる山づくりのためにー  
関西支所 主任研究員 中尾 勝洋

### パネルディスカッション

■木材利用を行う森林のために、その理想像は 予定調和は成り立つのか



参加無料  
事前登録不要

10/11 水

13:00 ~ 16:40  
(12:30 ~ 受付開始)

場所：一橋大学 一橋講堂  
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

詳しい情報はこちらから

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2023/20231011ffprilec/index.html>

主催



国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
**森林総合研究所**  
Forestry and Forest Products Research Institute

お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 企画部広報普及科  
茨城県つくば市松の里1 TEL.029-829-8372 FAX.029-873-0844  
E-mail:kouho@ffpri.affrc.go.jp

後援

(一社) 日本森林学会、(一社) 日本木材学会、森林立地学会、森林利用学会、(一社) 日本森林技術協会、日本造林協会、  
(一社) 林業機械化協会、(一社) 日本林業経営者協会、全国素材生産業協同組合連合会、(一社) 日本木質バイオマスエネルギー協会



特設サイト

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。